

## 近江の鎮守の森自然調査 2022 大宝神社（5）

〈開催日時〉 2022年8月6日（土）  
 〈集合場所〉 大宝神社四脚門 栗東市緒  
 〈参加人数〉 大谷事務局以下5名

「近江の鎮守の森調査2022」の調査対象は、今年度から大宝神社です。  
 調査場所は、【社殿～御神木周辺】【参道（南～西）】【芭蕉句碑～児童広場】【自由広場～蛇の池】【社叢林（林縁～林内）】の5ブロック  
 5回目の調査は、区域②と③の再調査です。  
 季節の違いで見つけられなかった種や他の区域では発見できたが、②・③では初めて種を拾い上げました。  
 写真は、原則観察順です。観察場所によって重複する種があります。  
 本レポートは調査報告としてではなく、調査の雰囲気及び大宝神社の植物相の一端を感じていただくものです。

【参道（南～西側）②】 春の参道の観察から半年近く経ったので、沢山の種をチェック出来そう。

タンキリマメ



ヤブラン



エノキグサ

エノコログサ



タカサゴユリ



ヒメムカシヨモギ



オオアレチノギク



アキノノゲシ



アベリア



アブラゼミ



メリケンガヤツリ



ザクロソウ



ノブドウ



ミレハノブドウ



コニシキソウ



オオニシキソウ



ノキシノブ



ヤマノイモ



トラノオシダ



イロハモミジ



アレチヌスビトハギ



マルバハコウ



カラムシ



イワヒメワラビ



ウリクサ



シマスズメノヒエ



アサガオ



クワクサ



カラスウリ 花後



ヒヨドリバナ



ヘニバナボロギク



キツネノマゴ



ツククサ



シロバナツククサ



クサギ



スイリュウヒバ



セミの抜け殻



【芭蕉句碑～児童広場 ㊦】 参道は、整備の頻度が多く、野草が少ない。児童広場の観察が中心。

ウリクサ



トギソウ



ククガヤツリ



イヌビロ



オビシバ



トキワハゼ



コミカンソウ



コニシキソウ (立ち上がっている)



イヌビエ



ハキダメギク



タラノキ



ヤブミョウガの花後



カラタチバナ 社叢林以外で発見、保護対象とした



オオアリドシ



サンショウ



ノハカタカラクサ (常緑性)



【その他】 社叢林の中の保護対象のカラタチバナと蛇の池のウマノススクサをチェック  
カラタチバナ 果実と新葉を観察 7月2日のカラタチバナ



ベニバナボロギク



ウマノススクサ

ヌスビトハギの花



シオカラトンボ

アメリカミズキンバイ

アメリカタカサプロウ



ヒロードエノキグサ

カクレミノの花



【感想】

コロナの再燃と記録的な猛暑の中、開催したそんな理由で参加者は限定的になりました。しかし、実際の観察は予想よりもスムーズで神社の環境が、日差しを和らげくれました。

保護の対象の「カラタチバナ」や「ウマノススクサ」は、無事生育していました。季節変化で神社の植物の様相が変化します。次回の調査への参加を期待します。

(文責：村山和夫)